

～ サポーターのこころを結ぶ ～

認知症サポーターキャラバン情報紙

VOL.4



高齢者の交流も深まる、地域住民が運営する「ふれあい朝市」(楠橋校区)

2010. September Vol.4 Contents

- 北九州中央高等学園の取り組み P2
- 楠橋校区社会福祉協議会の取り組み P3
- 「もりフォーラム」ボランティア募集のご案内 P4
- 認知症サポーター養成講座受講状況等 P4



北九州 市
北九州市社会福祉協議会

地域と共に歩み、自ら未来を拓く力と豊かな人間性の育成を目指して

北九州市立 特別支援学校 北九州中央高等学園

北九州中央高等学園(中川伸也校長)は、戸畑区沢見に位置し、軽度の知的障害のある生徒を対象とした高等部のみの特別支援学校です。

平成19年4月に開校。現在、全校生徒110人が在籍しています。

学校の主な特徴は、就業、社会参加と自立を目指す教育課程(基礎学習、社会生活学習、作業学習)です。作業学習では、食品、サービス、技術Ⅰ・Ⅱコースがあります。作業学習では製作したものを販売することで、職業生活に必要な知識や技能を身につけていきます。

また、校内で身に付けた様々な力を発揮する実習には全生徒が参加しています。

生徒が自信を持ちました!

7月に開催された「認知症サポーター養成講座」の受講者は2・3年生のサービスコース福祉班のみなさんです。

福祉や介護補助の知識を学んでいる他、近隣のグループホームを訪問し、高齢者のみなさんとの交流も実施しています。

ゲームや歌、折紙等を通して、会話を楽しんだりして、クリスマス等の季節ごとのイベントに参加し、高齢者のみなさんと楽しいひとときを過ごします。



いかかですか〜♪ (校内の製作品販売コーナー)



認知症サポーターの実践活動(高齢者福祉施設訪問)

その際、生徒のなかには高齢者と接した時に、認知症による言動なのか、そうでないのかが、よくわからず、接することへの不安となっているようです。

このような不安を解消するべく、先生たちは、認知症の基礎を学ぶことができる「認知症サポーター養成講座」の開催を決めました。

実際の受講では、クイズ形式(○×問題)で講義が行われ、聞くだけでなく、みんなが参加できる形式がとられました。

生徒のなかには、「講座で、認知症の人と接するときはやさしく話しかけることを学んだ。何かお手伝いできることがあればと思った。グループホーム等を訪問する際に活かしたい。」といった声があがっています。

知ることで、接することに自信を持つことができた生徒もいました。

生徒のこれからを考えて!

今後も毎年「認知症サポーター養成講座」を開催し、生徒一人一人が、実習や就業等で、学んだ知識を活かし、より多くの生徒が、家庭、地域、就職先で、見守り支える「認知症サポーター」を目指していきます。

手作りの朝市で深まる 地域コミュニケーション

楠橋校区社会福祉協議会

認知症になっても、この元気をまちなら安心

八幡西区の茶屋の原団地で毎週火曜日に開かれる「ふれあい朝市」。新鮮な野菜や卵、生花、惣菜などが並び、一番人気の鮮魚売り場には、販売開始の9時前から長い行列ができています。

団地内を走る路線バスが廃止され、歩いていける範囲にあったスーパーが閉店。「買い物に困っている人がいる。何とかしてほしい」という地域住民をサポートしようと、昨年4月から、地元自治区会が中心となり取り組んだのが、この「ふれあい朝市」です。

閉店した店舗を無料で利用させてもらい、出店者も値段を安めに設定しているそうです。リュックを背負ったり買い物カートを押したりしながら、地域の人たちが次々と集まってきました。

地域で見守り支え合う！

楠橋校区社協では、平成19年11月に「認知症サポーター養成講座」を開催し、民生委員や福祉協力員、自治区会役員など、多くの地域活動者が受講しました。

その地域活動者の方々が準備や後片付けだけでなく、地域のお年寄りが安心して買い物ができるよう見守っています。



店舗の隅には手作りの長椅子が並べられ、冷たい麦茶を飲みながらのおしゃべりもはずんでいます。

楠橋校区社協の青柳会長も、「サポーター養成講座」を受講した一人です。「ふれあい朝市での毎週の買い物と、身近な住民同士のコミュニケーションが、認知症そのものを予防していることはもちろんですが、閉じこもりがちな高齢者をみんなで見守るしくみづくりや、ニーズの早期発見にもつながっていると思います。」と話します。

ふれあい朝市が、地域住民のサロンの役割を果たしているのです。

認知症になっても安心なまち！

自分たちのまちは自分たちみんなで何とかしようという思いが、まず支援を必要としている人々を支え、それによって地域は活性化し、さらに関わった人々のやりがい、生きがいにもつながっていきます。

「認知症になっても、この明るく元気な町ならこれからもきっと安心して暮らせる。」というお年寄りもいました。

多くの人に喜ばれながら、ふれあい朝市は、ますます賑わっていきそうです。



高齢者への見守り・寄り添いボランティア募集！！



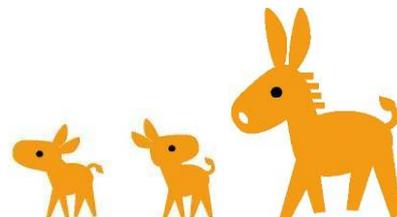
「もりフォーラム」は、もりを舞台に認知症の人とその家族を含めさまざまな人が出会い、自然の恵みを受け、ふれあいながら、認知症の人への理解を深め、身近な地域へ広めていくきっかけづくりの場です。高齢者への見守り・寄り添いボランティアを募集しています。

＜実施日＞ 平成22年10月9日（土）10：00～16：00

＜会場＞ 山田緑地（小倉北区山田町）

＜問い合わせ先＞

もりフォーラム実行委員会 事務局 TEL. 093-512-3190



北九州市の認知症サポーター 22,253人（H22. 7月末現在）

最近の「認知症サポーター養成講座」受講団体

- 西南女学院大学 保健福祉学部福祉学科
- ホワイトキャッスル第2下到津
- 医療法人 健和会 おさゆきリハビリテーション病院
- 株式会社 アステム
- 老人クラブ（双葉会、石田愛友会、藤ノ木校区、八幡東区、永犬丸地区）
- 校（地）区社会福祉協議会（足立、曾根東、前田北、則松、香月）

認知症サポーター養成講座を広める「社会福祉協議会」



社会福祉協議会は、
「みんなが安心して暮らせる支えあいのまちづくり」
を目指し、地域福祉の理解を広めています。

この情報紙は、認知症サポーターの活動や活動機会の紹介を主な目的としております。
活動事例等の情報がありましたら、ぜひ、お寄せください！！

北九州市認知症サポーターキャラバン事務局

（運営：社会福祉法人 北九州市社会福祉協議会）

〒804-0067 北九州市 戸畑区 汐井町1番6号 ウェルとばた8F
担当：福祉部 地域福祉課 TEL. 093-873-1296 FAX. 093-873-1351